

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0641
施設名	かすみ保育園
施設所在地	東京都青梅市東青梅6丁目1番地12
法人名	社会福祉法人青梅みどり福祉会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「自然」

<テーマの設定理由>

当園は目の前に山や公園があり、日頃から園児は、山の中を駆け回ったり、昆虫や植物と触れ合っている。こうしたことから自然をテーマに設定し、動植物の生態や環境についてさらに興味関心を深めると共に、森の持つ役割や重要性についても探究する。また、園庭に果樹を中心に植栽し、育てることの大変さを感じると共に果実のなり方や収穫の楽しみを体感する。

2. 活動スケジュール

令和7年11月：森林学習体験（年長児お楽しみ会）

令和8年3月：五感で楽しむ！かすみの森

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

○森林学習体験：森林学習費用、キノコ狩り体験費用、バス代

○五感で楽しむ！かすみの森：

カンナ風呂用仕切り、自然遊びコーナー用木製テーブル、マット、生きもの図鑑、記録用カメラ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○森林学習体験：青梅市面積の6割を占める森林の持つ機能や役割について林業家の方からの話を聞き学習するとともに、切り出した材木を切ったり、やすりで磨いてコースターを作ったり、まき割りをする等、実際に木に触れる体験をした。きのこ園では原木きのこの話を聞いたり、見て、触れて実際にキノコ狩りを体験。

○五感で楽しむ！かすみの森：園庭の植樹は子ども達も一緒に植樹の仕方を教えてもらい、年長、年中児が実際に土に触れながら参加。翌日以降、年長児中心に水やりを手伝いながら成長を見守る。自然遊びコーナーでは、乳児クラスも含め、杉、ヒノキのカンナくずプールで木の香りや感触を楽しみながら遊んだ。幼児クラスは縦割りグループで年長児が作ったどんぐりコマコーナー、身近な生きもの図鑑を読むコーナーを楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

○森林学習体験：成木の森の林業家の方の話はスライドや森林を再現した手作り装置で森林の役割を分かりやすく聞くことができ、子ども達も興味を持っていた。特に、土にしみ込んだ水が透明になって出てくる様子には声を発して驚く姿も見られた。丸太切りでは、はじめて手にするノコギリに興味津々で、初めはぎこちなかったが、慣れて来ると積極的に使い切り落とすことができていた。やすりで磨きながら「すべすべになった」「いい匂い」などと香りや感触を楽しむ。また、まき割りにも挑戦し、割った木を持ち帰りたと言いつつもいた。キノコ狩りでは、普段スーパーでみるシイタケとの違いに、「すごい、木に生えてる！」と驚いたり、実際収穫してみているいろいろな大きさ、形、かさの向きに気づく姿もあった。各家庭に持ち帰り、家族で食べる、シイタケ苦手だけど食べてみようかな・・・と話していた。

○五感で楽しむ！かすみの森：園庭の植樹は年長、年中児と一緒に植樹に参加することで、木が育つには、土、太陽、水が大切であることを実感したり、どんな実ができるかを楽しみにする姿が見られた。年長児中心に翌日以降、水やりも当番活動の一つとして行い、葉がでて来ると見つけた子が、保育士に嬉しそうに知らせる姿も見られた。カンナくずプールでは、木の香りを「いい匂い」と言ったり、柔らかさを感じて、頭や身にまもってみたり、布団に見立てて、寝転がる姿もあった。どんぐりコマや図鑑を楽しむコーナーでは、回し方を年上の子が年下の子に見本を見せてあげたり教えてあげる、図鑑を読んであげるなどの関わりを持ちながら、楽しむことができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

日頃から自然の中で過ごす機会が多くあったが、今回改めて森林学習体験を通して、丸太をノコギリで切り落としたり、やすりで磨き、木の手触り、香りを存分に楽しみながら、自分のコースター作りに積極的に取り組むことができた。また、木々や土、雨の役割など考える良い機会となり、より自然に興味関心を持つことができた。学習体験後、実際に園庭に梅、ブルーベリーの樹を植樹し、世話をしていく中で、今後も継続して花や実がどのようにできていくのか、実際に収穫する経験もしていきたい。カンナくずプールでも杉やヒノキの木の香り、かんなで削った柔らかいくずを自由に遊ぶ中で、子ども達は布団や帽子、洋服に見立て遊ぶことができていた。地域の方の協力もあり、様々な自然の体験ができたので良かった。